



第 1299 回例会報告

平成25年1月10日(木) 晴

【1月はロータリー理解推進月間】

会長挨拶

会長 蒲地整志

税制改正

新年おめでとうございます。

昨日(1月9日付)の信濃毎日新聞に、自民党税調で給与の増額分を法人税の減税対象にするという案が掲載されていました。

政府が変わると、いつもこの様な税制改正が浮上してきます。

前にも述べましたが、税制も長期ビジョンで行うべきです。本来、税制を弄くり回して景気対策をするのは間違いです。

要は、経済の活性化はよほど特別な場合を除いては税制で行う事では無いと言う事です。小手先の税制改正は短期的にカンフル剤にしかならず(それも疑問ですが…)、付け焼刃と言うべきでしょう。

消費税にしても、品目で税率を変えと言う案もありますが、端的に言えば昔の物品税に戻ってしまいます。

食料品を非課税とする場合、高級和牛肉や松茸も非課税とするのでしょうか? そうなると区分は難しく、徴税コストが異常に高くなります。

なぜ消費税を導入したのか? の原点に戻るべきです。

本日は、諏訪大社に於いて新年のご祈祷をしてまいりました。

その祝詞の中で「力を合わせ、心を一つにして」と言う言葉がありました。

あと半年、力を合わせ、心を一つにして乗り越えたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願い致します

◇幹事報告◇

【報告事項】

1)次週、後期会費の納入書を出します。よろしくお願い致します。

2)24日例会の内容が変更になりました。外部講師卓話となります。

3)世界大会の案内が届いています。

【連絡事項】

IM のときに合唱する「琵琶湖周航の歌」の CD を配布しました。お聞きください。

【受領文書】

各クラブ広報が届いています

■出席報告

会員数	35名
出席対象	35名
出席者数	26名
出席率	74.3%
前回修正	80.0%

■ニコニコBOX

23名	27,000円
累計	689,000円
目標額	130万円
達成率	53.0%

■今週のこぼ

青木町長様 本日はよろしくお願い致します

蒲地整志

■次回のプログラム

1月24日

外部講師卓話例会

相続について

小口洋子司法書士

職業奉仕委員会



第 1299 回例会

新春下諏訪町長卓話

本日の例会は、新春恒例青木悟下諏訪町長の卓話でした。

昨秋の選挙で3期目の当選を果たした町長は、「この新春のロータリー卓話がいやでいやでたまらない」と一同を笑わせましたが、簡潔に現在の下諏訪町の問題点をまとめ、進もうとしている方向性を示唆する有意義な卓話でした。

下諏訪町の財政状況と今後のまちづくり



町長選挙では大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。

従来からお話していますように、私の基本方針は「下諏訪力の創造」です。そして選挙に際しては、人に優しく絆と支え合いのまちづくりのために24の施策をお約束し、3つの指針を発表させていただきました。3つの指針は

- 1: 誰もが健康で安心して安全に暮らせるまちづくり
- 2: 地域の資源や人の力を活かし、住んでいることに誇りが持てるまちづくり
- 3: 計画的で効率的な行財政運営を行い、持続可能な自治体を構築する

この指針が何より大切なものと考えております。

時あたかも、国政・政権交代の時期にあたり、安倍政権の緊急経済対策が次々と打ち出されると思われまますので、それへ迅速に、正確に、正しく対応してきたいと考えています。

その時に大切になるのが計画行政です。

下諏訪の財政状況を考えて見ますと、地方交付税が受けにくい町となっています。

それは、基準財政需要額が少ない、基準財政収入額(税金が多く、財政力指数の高い町)のせいです。

ですから、大きな仕事をするには、補助金、交付金をうまく利用することが必要ですが、何でもかんでも補助さえつければやるという姿勢ではダメです。そのために

1. 無駄な仕事をしないため、計画行政が必要
総合計画 10年、行財政経営プラン 5年、事業実施計画 3年、事務事業評価ということをきちんとし、何が必要なのか何をしなければならないのかということを常に見極めていなければなりません。

2. 財源の確保

いくら補助がついてもすべてが補助でまかなわれるわけではありません。10分の10もあれば10分の5もあるため財源が必要です。きちんと財政調整基金、予備費などの留保財源の確保することが益々大切になります。

3. 職員の対応能力とやる気

この町に必要な補助制度を見つけ出し、理解し、申請書類を作り上げる能力とやる気は、益々大切になります。例えば、歴史的風致維持向上計画「歴史まちづくり法」にいち早く気づいた職員の努力により伏見屋邸にかかわる負債を一気に軽減でき、しかも地域や観光に役立つ施設へと一変できました。また県の緊急雇用対策が12月20日頃示され翌週1月7日の種類最終提出に対応するなど、職員は頑張っております。

下諏訪町の財政状況は、現在の借入金残高は24年度末で約82億、その内臨時財政対策債等が45%と改善されております。基金は財政調整基金約10億、公共施設整備基金約7億など全体で20億まで回復することができました。また公債費(単年度返済金)は、就任時12億でしたが現在7億まで圧縮できました。

ますます、財政が健全化するよう精一杯の努力を続けます。

今後のまちづくりは、先ほどお示しました3つの指針を推進するものですが

健康で安心して安全に暮らせるまちづくりのた

め、健康増進、スポーツゾーンプロジェクトの推進、安心安全;自助、共助、公助基本にした地域防災力の強化、雨水排水対策事業、砥用、承知川河川改修、バイパス建設促進 安全な道路確保など多岐にわたる施策を着実に実施してまいります。

最後に「地気力を活かす」「下諏訪力の創造」のためにより一層のご協力をお願いします。

下諏訪町は伏見屋邸におけるサポートクラブやシルバの活躍、子育て支援センター「ぼけっと」における「ぼけったー」の存在、ものづくり支援センターや観光協会における民間力の発揮、チャレンジ支援事業に17のエントリーなど、住民主体となる「地気力を活かす」「下諏訪力の創造」の活動が本当に盛んで心より感謝しております。

今後とも民公協力した町づくりが益々進みますよう心よりお願い申し上げます。

(文責 編集者)

セブ訪問壮行会を開催しました。



12日から、何班かに分かれて総勢12名がセブ島を訪問し「セブの子供に音楽教育を！」活動に参加します。

その壮行会を例会に先立ち開催し、お饞別をお贈りました。セブ訪問の様子は2月第1回例会にて報告会を開催いたします。

メンバーの無事をお祈りいたします



新春恒例諏訪大社参拝が行われました。諏訪湖ロータリークラブの益々の発展と会員諸氏が本年も幸多からんことを祈念いたしました。